



助成金

## 中央共同募金会 重症児等とその家族に対する支援活動応援助成

医療的ケア児支援法が令和3年9月から施行され、保育所や学校などにおける看護師配置が整備されるなど、医療的ケア児の地域生活を支える新たな制度が整備されました。一方で、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、重症児などとその家族にとっては、サービスの利用や面会・付き添いに制限がかけられる、感染を防ぐ観点から社会体験や学習機会が減少するなどによって、困難な状況に置かれているかたも少なくありません。この助成事業は、こうした状況をふまえ、医療的ケア児、難病児、重度障がい児(若者も含む)と、その家族を支援する活動を、資金面から応援する目的で実施します。

- 助成金額 1 団体あたりの助成上限は500万円
- 対象団体
  - ①非営利の活動(事業)展開を目的とする団体を対象とします(法人格の有無は問いません)。
  - ②団体としての活動(事業)実績が1年以上あり、助成対象活動(事業)の実施体制が整っていることを要件とします。
  - ③特定の宗教や政治思想を広めることを目的とする団体、反社会的勢力および反社会的勢力と関わりがある団体は対象外です。
- 対象期間 令和4年5月～令和5年3月
- 対象事業 新型コロナウイルス感染症の影響が長引く社会状況下において、「重い病気に向き合う、または重度の障がいのある、または医療的ケアを必要とする、子ども・若者(以下、重症児などと記載)」と、その家族(兄弟も含む)を支援することを目的とした以下の事業・活動を対象とします。
  - ①重症児などや家族の居場所(通所・宿泊含む)・遊び場・学習の場などを地域に開設または運営する活動(事業)
  - ②重症児などや家族の孤立防止を目的とした活動(事業)
  - ③重症児などの学習環境向上や社会体験の機会提供などを目的とする活動(事業)
  - ④重症児などや家族のレスパイトを目的とした活動(事業)
  - ⑤その他、重症児などや家族の支援のために必要と認められる活動(事業)
- 締め切り 令和4年3月22日(火)午後5時必着
- 申し込み 中央共同募金HPのWeb応募フォームからお申込みください。
- 問い合わせ 社会福祉法人中央共同募金会 基金事業部  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2新霞が関ビル5階  
電話：03-3581-3846 FAX：03-3581-5755  
メール：m-kodomo@c.akaihane.or.jp  
URL：https://www.akaihane.or.jp/subsidies/sub-problem-solving/24669/  
※問い合わせはできるだけメールでお願いします。

ボランティアみさと配布先 三郷市ボランティアセンター、公共施設以外でも配布しています！

- |   |  |
|---|--|
| 【三郷駅周辺】                                   | 【新三郷駅周辺】                               |
| みさと書房(早稲田2-2-6)/亀有信用金庫三郷駅前支店(三郷2-20-1)    | みどりの風(半田1212-2)/三郷ケアセンター(南蓮沼260-2)     |
| 川の郷協社(早稲田1-11-13)/早稲田児童センター(早稲田3-18-14)   | 【天神周辺】                                 |
| 地域活動支援センターパティオ(早稲田3-26-3ふれあい早稲田3階)        | イトーヨーカドー三郷店(ピアラシティ1-1-1)               |
| ワーカーズ・コレクティブ青いそら(早稲田5-4-1文化会館1階)          | 湯いぢり横丁(ピアラシティ2-3-10)                   |
| ふれあいクリニック早稲田(早稲田3-26-3)                   | 【戸ヶ崎周辺】                                |
| 【幸房・谷中・谷口周辺】                              | 地域包括支援センターみさと南(戸ヶ崎1-568-1)             |
| 特別養護老人ホーム小鳩園(中央4-8-4)/ドコモショップ三郷店(幸房131-1) | 南児童センター(戸ヶ崎2-654)/亀有信用金庫三郷支店(戸ヶ崎2-284) |
| 亀有信用金庫早稲田支店(谷口631-3)/三郷郵便局(中央5-2-1)       | 亀有信用金庫三郷南谷支店(戸ヶ崎3-116-2)               |
| 【新和・栄周辺】                                  | 【高州支店】                                 |
| ひまわりの家(新和4-562-3)/工房風のうた(新和4-601)         | 亀有信用金庫高州支店(高州1-291-1)                  |
| 埼玉みさと総合リハビリテーション病院(新和5-207)               | 【鷹野周辺】                                 |
|   | みさと健和病院(鷹野4-494-1)                     |

☆【レポート】令和4年度ボランティア活動保険の受付開始！  
☆【お知らせ】重症児等とその家族に対する支援活動応援助成

ボランティア・市民活動情報

# ボランティア みさと

ご自由にお持ちください 毎月25日発行

令和4年(2022年)  
3月号 No.239

バックナンバーPDFは  
コチラから▶  
ボランティアセンター  
ホームページQRコード



つながる、広げる。寄りそう、支える。

# ボラみさ

- 主な記事 2 ページ【レポート】令和4年度ボランティア活動保険の受付開始！
- 3 ページ【助成金】老後を豊かにするボランティア活動資金助成事業  
【寄付】子ども食堂へ寄付物品をお渡ししました！！
- 4 ページ【助成金】重症児等とその家族に対する支援活動応援助成

## レポート ひこなり親子食堂マハロかふえ

2月19日(土)彦成地区文化センター調理室において、第3回ひこなり親子食堂マハロかふえが開催されました。新型コロナウイルスの影響により、会食ではなくネットから申し込みをされたかたに感染防止対策をとりながらお弁当を渡していました。

代表の高橋さんに親子食堂を始めたきっかけを伺ったところ、「彦成地区に子ども食堂がなく、でも近所にはたくさん子どもたちがいるので、みんなが利用できる場所として親も子も一緒に食べられる居場所作りをしていきたい。」とおっしゃっていました。

当日は牛丼128食が配付され、受け取りに来られたかたからは、「いつもありがとう、助かっています。」との声が聞かれました。3月には三郷親子食堂・ひよこカフェ・マハロかふえ3か所で同日開催する予定です。詳細は、各食堂のインスタグラムをご覧ください。

三郷親子食堂(npomisato)  
[https://instagram.com/npomisato?utm\\_medium=copy\\_link](https://instagram.com/npomisato?utm_medium=copy_link)  
親子食堂ひよこカフェ  
<https://www.instagram.com/chuoyakoshokudo/>  
ひこなり親子食堂マハロかふえ  
[https://www.instagram.com/mahalo\\_oyakoshokudou/](https://www.instagram.com/mahalo_oyakoshokudou/)



Misato City  
Volunteer  
Center

## 三郷市ボランティアセンター

TEL：048-953-4191 FAX：048-953-4192  
〒341-0041  
埼玉県三郷市花和田638-1  
三郷市健康福祉会館5階(社会福祉協議会内)  
Web：https://www.misato-syakyo.or.jp/  
Mail：mvc@misato-syakyo.or.jp  
開所日時 ⑧～④ 午前8時30分～午後5時15分(祝日、年末年始除く)

公式facebookページ  
三郷市社会福祉協議会  
<https://www.facebook.com/misatosyakyo>

公式Twitter  
@misatosyakyo

Webでも情報発信中  
三郷市協会のホームページ  
<http://www.misato-syakyo.or.jp/>  
FB、ツイッターもフォローしてねっ  
ボラ太郎@MVC





## レポート

# 全国社会福祉協議会 令和4年度ボランティア活動保険の受付開始！

ボランティア活動は、自らの意志で行う活動で、原則として事故などが起きても補償はなく、故意ではなくても賠償責任を問われる場合もあります。全ての問題が解決されるわけではありませんが、「ケガをした」「ケガをさせた」「物を壊してしまった」といった万が一のトラブルに備え保険に加入しましょう。また、ボランティア自身の食中毒や特定感染症、熱中症も補償します。

- 補償期間 4月1日(年度の途中は加入翌日)～翌年3月31日  
※令和3年度の補償期間は間もなく終了です。4月以降もボランティア活動を継続する場合は、加入手続きが必要です。
- 加入方法 加入申込書に必要事項を記入し、保険料の支払い及び手続きをボランティアセンター窓口で行います。加入申込書はボランティアセンターに用意しています(郵送はしていません)。なお、グループでお申し込みの場合は、名簿(氏名・住所・電話番号・年代を記載したもの)もご提出ください。

### ○保険料

		基本プラン	天災・地震補償プラン	(新設) ↓ 特定感染症重点プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金※	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
賠償の補償	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外		初日から補償
	地震・噴火・津波による死傷	×	○	○
賠償の補償	賠償責任保険金(対人・対物共通)	5億円(限度額)		
年間保険料(年額)		350円	500円	550円

※令和4年度から、特定感染症重点プランが新設されました。

新規加入の場合、基本プラン、天災・災害プランでは補償開始日から10日以内に発病した特定感染症については補償の対象になりませんでした。特定感染症重点プランは補償開始日から補償となります。

- 問い合わせ 三郷市ボランティアセンター  
〒341-0041 三郷市花和田 638-1 三郷市健康福祉会館 5階  
電話：048-953-4191 FAX：048-953-4192  
メール：mvc@misato-syakyu.or.jp

## 三郷市ボランティア活動等災害補償も更新が必要になります

令和3年度保険に加入したかたには、3月中旬ごろ更新の書類「令和4年度ボランティア個人カード」をお送りいたします。加入希望のかたは、ボランティアセンター窓口で提出もしくは郵送をお願いいたします。社会教育、青少年育成、社会福祉、地域社会活動などの公共性があり、報酬を受けずに行う活動で、三郷市内での活動が対象です(三郷市外で活動する場合は上記のボランティア活動保険の加入になります)。



ボランティアセンターでは、ボランティア・市民活動を支援するため印刷機の貸し出し(有料)を行っています

## 助成金

# 公益財団法人みずほ教育福祉財団 老後を豊かにするボランティア活動資金助成事業

高齢者を主な対象として活動するボランティアグループ及び地域共生社会の実現につながる活動を行っている高齢者中心のボランティアグループに対し、利他性を有する活動にて継続的に使用する用具・機器類の取得資金を助成します。

- 対象 地域において、助成の趣旨に沿った活動を行っている、個人が任意で参加する比較的小規模なボランティアグループで、次の要件を満たすもの。なお、反社会的勢力、及び反社会的勢力に関係すると認められるグループからの申請は受け付けられません。
- 要件 ①グループメンバー：10人～50人程度  
②グループ結成以来の活動期間：満2年以上(令和4年3月末時点)。  
③本助成を過去3年以内(令和元年度以降)に受けていないこと  
④グループの組織・運営に関する規約(会則)、年度毎の活動報告書類及び会計報告書類が整備され、規約(会則)に定めるグループ名義の金融機関口座を保有していること。サロンについては、サロン開催に関する規約ではなく、サロン運営を担うボランティアグループの組織・運営について定めた規約(会則)が必要です。
- 対象外 ①法人格を有する団体(特定非営利活動法人など)及びその内部機関(支部など)  
②老人クラブ及びその内部機関  
③自治会・町内会及びその内部機関  
④他の組織に所属する人(自治会長・民生委員など)を、本人の意思にかかわらず自動的にメンバーとする団体。
- 助成金額 1グループにつき10万円を上限
- 締め切り 令和4年5月20日(金)必着
- 申し込み みずほ教育福祉財団のHPから申請書をダウンロードし必要事項を記入のうえ、市区町村社会福祉協議会の推薦を受け、お申込みください。
- 問い合わせ 公益財団法人みずほ教育福祉財団 福祉事業部  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-1丸の内センタービルディング  
電話：03-5288-5903 FAX：03-5288-3132)  
メール：fjp36105@nifty.com  
HP：http://www.mizuho-ewf.or.jp

## 寄付

# 子ども食堂へ寄付物品をお渡ししました！！

市民のかたから社協に、アルファ米324個の寄付がありました。

今回は、受け取りを希望した子ども食堂4ヶ所に配付しました。受け取った子ども食堂のかたは「有効に活用させていただきます。」とおっしゃってました。

今後もこうした地域のあたたかい気持ちを各団体に届けていきたいと思っております。

